

【策定趣旨】

策定の背景

①本市を取り巻く重要な社会変化

- ✓ 人口減少・少子高齢化の進展
- ✓ 地球温暖化に伴う気候変動リスク
- ✓ 大地震の発生による被災リスク
- ✓ 新型コロナウイルス等感染症拡大リスク
- ✓ 公共インフラの老朽化

②これまでの取組みによる成果

- ✓ 「時間を返す」市民サービスの実現
- ✓ 市民全員参加のまちづくり
- ✓ 国家戦略特区制度を活用した実証

③テクノロジーの進展

- ✓ IoT・センシング技術
- ✓ 分析・予測技術
- ✓ 通信・ネットワーク技術
- ✓ 自動制御技術

④国の動向

- ✓ Society5.0の提唱
- ✓ デジタル社会形成基本法の制定

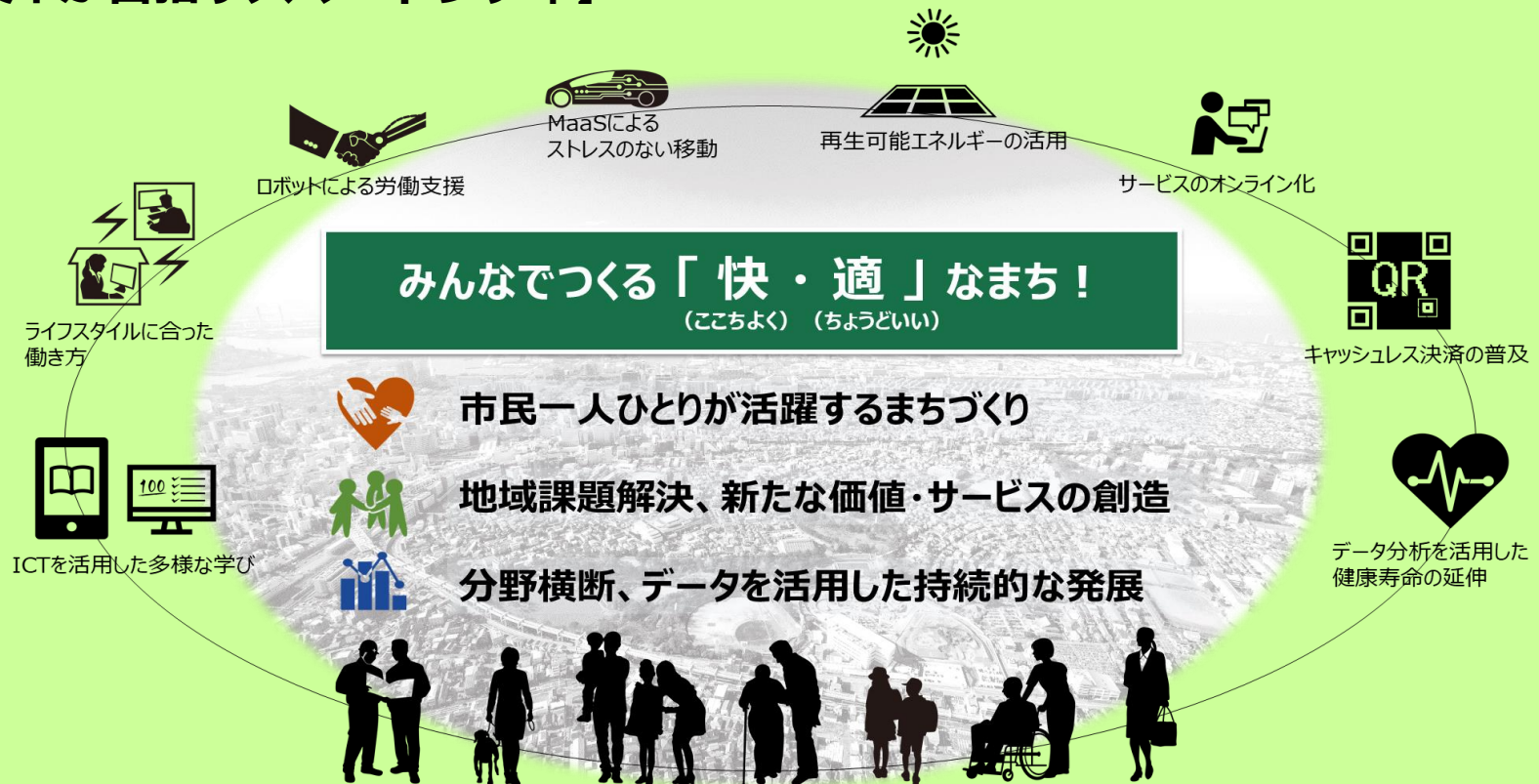
さらなる飛躍・発展を遂げるための好機が到来

テクノロジーの活用などにより、市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、目指すスマートシティの姿や取組みの方向性を地域住民や民間企業など、異なる役割を担う多くの主体と共有する「千葉市スマートシティ推進ビジョン」を策定

【位置付け・期間】

- ・位置付け・ ・総合計画におけるまちづくりを推進し、スマートシティを実現するため各個別計画と整合を取りつつ、分野横断的な指針として策定
- ・期間・ ・ ・ 20年後を見据えての10年程度を対象（5年程度を目安に見直し予定）

【千葉市が目指すスマートシティ】

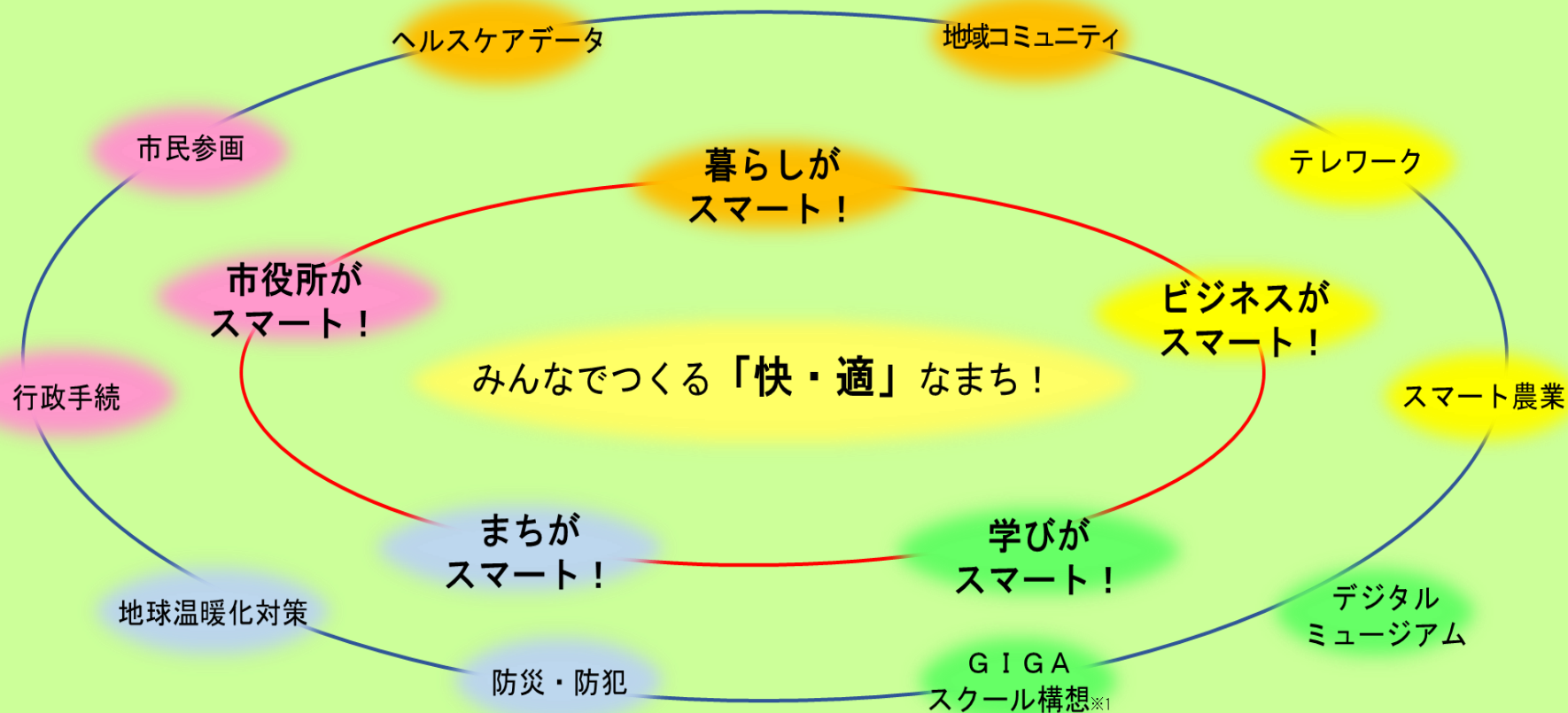


【実現のための原則と重視する視点】

- ・ **3つの原則**… 「市民中心」、「課題解決・価値創造」、「分野横断・全体最適」
- ・ **5つの視点**… 「多様な主体間の連携」、「自立性・持続性」、「個人情報への取扱い」、「安全・安心の確保」、「データ活用による課題解決」

【取組みの方向性 ～5つのスマート！～】

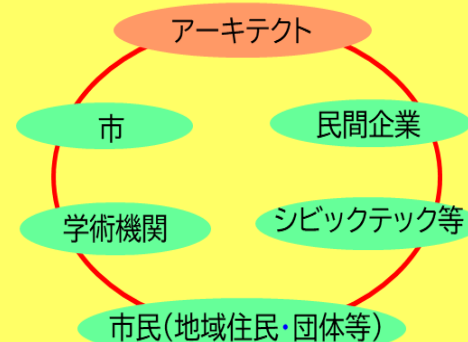
- ・ 目指すスマートシティの市民目線での実現に向け、あらゆる分野を「暮らしがスマート！」「ビジネスがスマート！」「学びがスマート！」「まちがスマート！」「市役所がスマート！」に分類し、市民ニーズや地域課題に基づく様々な取組を分野横断的に順次実施



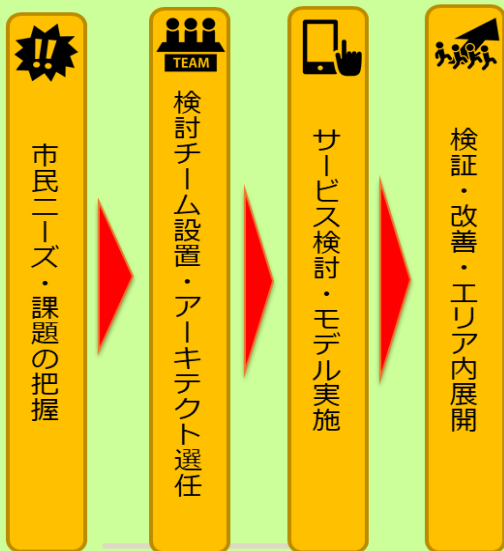
【推進体制・推進手法】

- ・ チャレンジ精神を持って新たな技術や手法等を積極的に取り入れ、最適なサービスを創出
- ・ エリアごとに、地域住民等と目指すべき姿をともに考え、その実現に向けてモデル的な取組みから着実に実施
- ・ エリア内での複数の取組みを繋げ、より良いサービスに進化するとともに、他エリアへ横展開
- ・ 取組単位で、有識者や民間事業者、庁内関係課をはじめとする多様な主体を巻き込んだ検討チームを必要に応じて設置

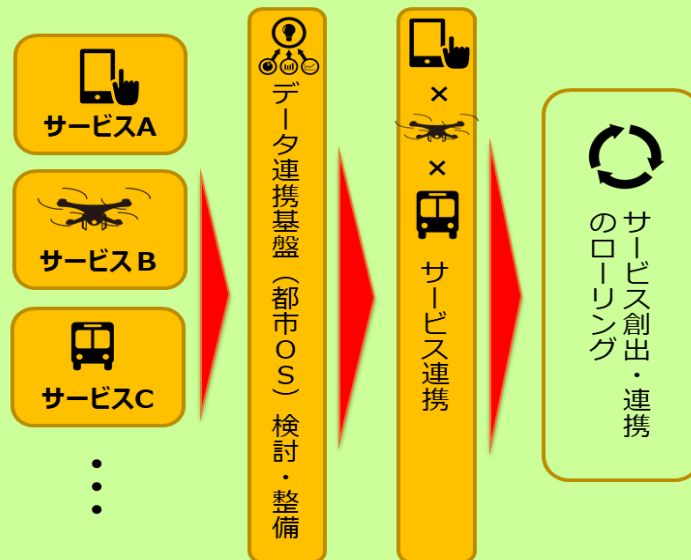
検討チームの構成例



【STEP1】エリア内のサービス創出



【STEP2】エリア内のサービス連携



【STEP3】他エリアへの展開

